

記入日	2016年2月7日
所属学部・学科 ／ 研究科・専攻	<input type="checkbox"/> 理工学部 学科 専攻 <input checked="" type="checkbox"/> 理工学研究科 建築学専攻国際プロフェSSIONALコース
留学先国	フランス共和国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: パリ国立建築大学ラヴィレット校 現地言語: Ecole Nationale Supérieure d'Architecture de Paris-La Villette
留学期間	2015年9月～2016年1月
留学した時の学年	M1年生(渡航した時の本学での学年)
留学先での学年	M1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
出発年月日	2015年8月27日
帰国年月日	2016年2月5日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～11月末 2学期:3月上旬～7月上旬 3学期:なし (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	2174名
創立年	1969年

留学にかかった費用(概算)

留学費用項目	現地通貨(€)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	3,300	410,000円	
食費	2,500	310,000円	
図書費	100	12,000円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	800	100,000円	長期休暇中の旅費
被服費	500	60,000円	
医療費	700	86,000円	歯科治療費
保険費	250	30,000円	形態:国民健康保険及び自賠責保険
渡航旅費	1,400	177,620円	
雑費	0	0円	
その他	50	6,000円	ビザ申請費
その他	120	15,000円	キャンパスフランス費用
その他	370	45,000円	メトロ定期券代
合計	10,090	1,251,620円	

出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

大学周辺の治安について明治滞在中の現地校の学生にアドバイスをもらっていましたが、実際に現地に行かないとわからない部分もあるので、現地滞在者等から詳細な情報を得ておいた方がいいと思います。

#### 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類:長期学生ビザ(6ヶ月未満)	申請先:在日本フランス大使館
ビザ取得所要日数:1週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:50ユーロ+15,000円

#### ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか?また、どのように手配しましたか?

Campus France 手続き完了の証明書、学生ビザ申請用紙、現地で引き出し可能な銀行口座の残高証明書、日本の大学の在学証明書、留学先大学の受け入れ許可証(ただし書類は全て英語またはフランス語にて作成、自身での翻訳不可/留学先から送付されたもの)、写真、パスポート原本  
受け入れ許可証以外は全て自分で手配しました。

#### 具体的な申し込み手順を教えてください。

Campus France に登録→必要書類のデータをメールで送付→その他全ての必要情報を Web 上で記入、情報登録を完了させる→指定口座に申請料を支払う→Web 上で支払い報告をする→フランス大使館にて申請および申請料の支払いを行う

#### ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

#### ビザ取得に関して困った点・注意点

Campus France での一連の手続きに関する情報が分かりにくい事、記入項目が多い事から、Web 上での手続き完了までかなり時間を要しました。また必要書類に関しても、実際には明治やラヴィレットのどの書類に該当するのか判断しづらいものが多くありました。

銀行は現地で預金が引き出せる口座でなければならないので、口座の新規開設が必要になりました。その上で英語の残高証明書を発行するため、解説から書類取得まで2週間程かかりました。また口座の最低残高が決められており、5ヶ月間の滞在では10万円程必要でした。

ビザ申請は毎週水曜日以外に来館したい場合は予約が必須になります。ただし長期休暇前やその期間中は予約がほとんど取れないので、注意が必要です。また、ビザの申請用紙内に現地滞在先を記入する欄があるので、ステイ先やホテル等をあらかじめ確保しておく必要があります。

#### 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

#### その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

留学保険への加入、現地のエリアごとの治安情報の確認、公共機関の確認、滞在先の確保。歯科、眼科等の治療や検診。SIMフリーのスマホ等を持っていればより便利だと思います。

**現地到着後のながれ**

**1.到着時の様子**

利用航空会社	全日空				
渡航経路	羽田空港～シャルルドゴール空港(直行便)				
渡航費用	チケットの種類:往復航空券/日付固定 航空券代:177,620円( <input checked="" type="checkbox"/> 往復, <input type="checkbox"/> 往路のみ, <input type="checkbox"/> 復路のみ)				
航空券手配方法	Expedia ※利用した旅行社・旅行サイト, ガイドブック, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	シャルルドゴール空港	現地到着時刻	16:00		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	約 90 分				

**空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等**

CDG 空港からパリ市内までは空港バスで一番近い停留所まで行き, そこからタクシーやメロを使うのが一番安全だと思います。RER の空港線は最も治安の悪い路線なので, 出入国時に大きな荷物を持った状態での利用は避けるべきだと思います。

大学到着日	月 日 時頃
-------	--------

**2.住居について**

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:9月5日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input checked="" type="checkbox"/> その他(コロカシオン/一軒家シェア)
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他( )
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input checked="" type="checkbox"/> その他(日本人とフランス人の社会人の女性)
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他( )
住居の申込み手順	渡仏の1ヶ月前に現地滞在者向けのインターネット掲示板にて複数の内覧を予約→渡仏後、内覧に行き住人を通して交渉、契約		

**住居は渡航前に, また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?滞在先の感想も書いてください。**

事前に内覧の予約を取り付けていた物件に渡仏後すぐ決まりました。  
一軒家の3、4階を女性同士3人でシェアしていましたが、住人間では特に問題はありませんでした。また同じ家の中に大家さんも住んでいたため、普段の生活で困った事があってもすぐに対処してもらえました。家自体に問題はありましたが、治安に関する不安がある場所でした。

**3.留学先でのオリエンテーションについて**

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月中旬
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額: )
内容と様子は?	設計演習科目やその他演習科目の授業内容プレゼンテーション
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月21日から

**その他、渡航してから必要な手続きについて・現地情報**

**1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか?いつ、どこで、方法は?日数、料金は?トラブルは?**

6ヶ月未満の学生ビザでは申請不要でした。

<b>2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？</b>	
大学の窓口において学生証交付期間中に加入必須の健康保険に加入しました。また同時に、任意の自賠責保険にも加入しました。	
<b>3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？</b>	
開設しませんでした。	
<b>4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？</b>	
SIM フリーの携帯電話と SIM カードを購入しました。パスポートがあれば購入できます。	
<b>5. 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？</b>	
歯科医院を受診しました。 大学内に関しては不明ですが、パリ市内には日本語の通じる歯科、病院が多くありますが、同じ治療を受ける場合でも病院によって治療費用が異なるようでした。	
<b>6. 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。</b>	
学内…事務局留学生担当者(大学の相談窓口)、日本担当の教授 学外…大家さん、ルームメイト、日本語が話せるフランス人の友人 大学には留学生担当の事務窓口があり、相談も受け付けてくれました。また留学生の出身国ごとにサポートしてくれる教授が1名ずついました。	
<b>7. 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？</b>	
渡仏前も渡仏後も、基本的にはインターネットで情報収集していました。また渡仏前には、ラヴィレットからの留学生に大学周辺の様子や現地で避けた方が良い場所等を教えてもらい、渡仏後は現地在住の友人からも話を聞きました。滞在先は治安の良くない地域でスリ等も頻発していたので、服やバッグのポケットには何も入れない、携帯電話・スマホを取り出さない、口の完全に閉まるバッグを使う、等の対策を普段からしていました。滞在中に大規模なテロ事件が発生しましたが、その際には日本大使館の Web サイトなどでの情報収集も行いました。	
<b>8. パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</b>	
家では概ね問題ありませんでしたが、大学内では Wi-Fi が使用できる場所が限られている上、接続できないことが多々ありました。	
<b>9. 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。</b>	
飲み慣れている薬、肌に合った医薬品等。	
<b>履修科目と授業について</b>	
<b>1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？</b>	
<input type="checkbox"/> 出発前に( 月 日頃)	
<input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他( )	
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後に(9月18日頃)	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他( )	
登録時に留学生として優先されることは	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
<b>優先が「あった」方はどのように優先されましたか？</b>	
<b>優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？</b>	
事前にガイダンスで伝えられた期間内にウェブサイトアクセスし、履修希望順位を付けて登録しました。	
<b>出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？</b>	
変更・追加は特に行いませんでしたが、可能なようです。また、希望の授業が履修できました。	
<b>卒業後の進路について</b>	
<b>1. 進路</b>	

就職    進学    未定    その他:

**2. 進路決定の際に参考にした資料, 図書, 機関など**

『海外で建築を仕事にする』

**3. 上記の項目で就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)**

**4. 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)**  
帰国時期と就職活動の時期が重なっていたため、帰国後すぐに応募できるように留学中からポートフォリオ、作品シートを作成していました。またプレエントリーなども行い、応募締め切りなどを把握した上で帰国後の活動の計画を立てていました。作品シートやESに関しては、研究室の同期学生に先輩の参考資料をメールで送ってもらい、作成の参考にしていました。

**5. 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。**

**6. 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。**

**7. その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。**

**VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。**

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00	講義						
10:00	講義				建築設計演習		
11:00	講義				建築設計演習		
12:00	講義				建築設計演習		
13:00					建築設計演習		
14:00					建築設計演習		
15:00					建築設計演習		
16:00					建築設計演習		
17:00					建築設計演習		
18:00			フランス語講座	PC演習	建築設計演習		
19:00			フランス語講座	PC演習			
20:00				PC演習			
21:00				PC演習			
22:00							
23:00							
24:00							

※単位認定結果に関する項目は理工学部事務室にて記入します。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
23 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 2単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
LE FAIT URBAINE ET LES PRATIQUES EUROPÉENNES DU PROJET	ヨーロッパにおける都市の実情と計画実践
科目設置学部・研究科	M1/Semester7
履修期間	1 学期間
単位数	13 単位
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	演習形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 510 分が 1 回
担当教授	R. KENLEY, C. GIRARD, H. CHUL SHIN
授業内容	ギリシャ・アテネの開発放棄地帯における自然環境と都市環境を意識した建築開発計画
試験・課題など	学期中間と末にそれぞれ建築作品のプレゼンテーション
感想を自由記入	実際に研究対象のアテネで実地調査を行い現地研究者から意見を聞くなど、アテネの都市開発に対する多くの知識を得ることができました。また建築デザインに対するアプローチの仕方など、日本とは異なる設計手法に触れる機会にもなりました。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
DESSIN ET MODÉLISATION DES FORMES COURBES	曲線構造体の設計とモデリング
科目設置学部・研究科	M1/Semester7
履修期間	1 学期間
単位数	10 単位
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	演習形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 210 分が 1 回
担当教授	D. GUICHARD
授業内容	コンピューターを用いた 3D ソフトウェア Rhinoceros の操作解説、演習
試験・課題など	ソフトウェアを使用した作品のモデリング
感想を自由記入	初めて触れるソフトウェアでしたが、授業では基本的な操作法の解説から始まり、プラグインなどの応用まで一通りの操作を実践を通して身につけることができました。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MODERN LANGUAGES: FRENCH AS A FOREIGN	現代語: 外国語としてのフランス語



LANGUAGE	
科目設置学部・研究科	M1/Semester7
履修期間	1 学期間
単位数	10 単位
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義及び会話形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	F. Huet
授業内容	初級レベルのフランス語文法、会話
試験・課題など	DELF 問題を用いた筆記試験
感想を自由記入	初級レベルのフランス語文法を会話練習を交えながら学習しました。また月に2回ほど校外でのエクササイズもあり、フランス文化や歴史も含めた勉強ができました。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：  
語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等  
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2015年 1月～3月	
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-学内募集・出願</li> <li>-ビザ申請準備</li> <li>-奨学金申請準備</li> <li>-航空券予約、滞在先の確保</li> </ul>
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-ビザ取得</li> <li>-渡仏</li> <li>-フランス語の事前学習プログラムに参加</li> <li>-大学のオリエンテーションに参加、授業登録、履修開始</li> </ul>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-実地調査活動(ギリシャ・アテネ/建築設計演習)</li> <li>-中間試験</li> </ul>
2016年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-期末試験、成績発表</li> <li>-帰国</li> </ul>
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	



## 留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>学部生の頃から何度か海外の学生とともにワークショップやスタジオワークを経験し、彼らの考え方とこれまで学んできた日本流の設計手法との違いを感じていました。その経験の中で日本以外の文化圏での建築デザインに対するアプローチの仕方に興味を持つようになり、実際に他国の教育を受け、他の考え方やデザインの手法を学んでみたいと思ったことが留学を決意した一番の理由です。またより厳しい学習環境に身を置くことによって、自分の学習意識の向上を図ることも目的の一つでした。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>英語に関しては普段から使用する環境にあっただけで特に問題はありませんでしたが、フランス語の学習を事前にもっと行っておくべきだったと感じています。現地校では英語で履修可能な授業やフランス語会話の授業も用意されていましたが、バイリンガルクラス以外の時間や他の学生とのコミュニケーションの基本となるのはフランス語なので、英語で授業を受けられるとは言っても、やはり現地言語を日常会話程度のレベルまで使えるように、重点的なレベルアップが必要だと思いました。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>過去の卒業設計において歴史的な街の保存と継承をテーマに選ぶなど、従来から国・文化圏を問わず歴史的な街並みとその保存・改修等に興味がありました。来年度の修士研究でも海外都市を対象として同様のテーマを研究する予定だったので、対象としての検討のための簡単な事前リサーチも兼ねて、一度そのような街で現地の街並みや建築に対する考え方や文化に直接触れ、現状を自分の目で見てみたいと思い、歴史的景観の保存に特に積極的なフランス・パリを留学先を選びました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>学生個人の意思・意欲を尊重する学校だと思います。学生と教授が常に対等に議論できる関係にあり、学生が積極的に意見の述べられる雰囲気がありました。また建築に関する授業だけでなく芸術系の講義や演習講座も非常に多く設置されており、それに付随して、デジタルラボやファブラボといった設備も充実していました。これらの設備は留学生も全て無料で使用することができ、全ての学生に対して整備の行き届いた開かれた学習環境が提供されていました。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>寮には入っていませんでした。</p>
<p>交友関係</p>	<p>フランス語があまり得意ではなかったので初めのうちはなかなか周囲と馴染むことができませんでしたが、丸一日を共にする授業や校外でのフィールドワークなどもあり、徐々に親交を深めることができました。また他の留学生の紹介などもあり、学外でも交友関係を広げることができました。大学が単科大学だったため学内の友人は同じように建築を学ぶ学生でしたが、それ学外では学生だけではなく社会人の友人も多く、日仏問わず様々な分野の人と関わることができ、学業以外でも面白い経験ができました。</p>
<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>特にありませんでした。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>建築デザインに関する授業を履修していました。教授と複数の学生が自分の作品について意見交換するのですが、教授だけでなく学生も他の学生の作品に対して積極的に意見を言うので、様々な視点からの意見を聞くことができ、とても良い刺激を受けました。3D ソフトウェアを用いた授業では実際に教授の説明を聞きながら同時に実践作業を行うので、フランス語の説明が難しく遅れをとることもありましたが、授業の合間や終了後に積極的に質問し疑問点を解決するように努めていました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>デザインスタジオでは授業時間外の個人作業が非常に重要になるため、毎週の授業のディスカッションに向けて、スタディが深夜に及ぶことも多くありました。また学期末の作品プレゼンテーションに向けて最終週には大学で1週間の集中作業日が設けられており、その期間は連日大学で朝から深夜まで作業していました。3D のクラスでは最後の1か月間にそれまで習った技術を基本にして自分で作品をモデリングする課題がありました。不慣れなソフトウェアということもあり、授業の時間外の自習が欠かせませんでした。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>パリ市内やその近郊には有名建築や観光地が多数ありました。そのため休日にはパリ市内や近郊まで有名建築などを見に出かけることが多く、長期休暇中にはイギリスやドイツといった近隣国まで足を伸ばしました。これまで雑誌などの紙面でしか見ていなかった建築の実物を実際に目で見て空間を体験することは、とても良い勉強になりました。またフランスでは芸術系の学生は国立の美術館や博物館に無料で入れるため、その機会を活用し多くの施設で展示を見て回りました。</p>
<p>留学を志す人へ「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等</p>	<p>留学先で自分が何を体験したいのか、そして何を得たいのか、できるだけはっきりとした目標やビジョンを持って留学に臨むことが重要だと思います。慣れない環境での生活は何をするにも慣れるまでに時間がかかり、また思うようにいかずに失敗することも多く、毎日があっという間に過ぎていきます。限られた時間を無駄にしないためにも、やりたいことや学びたいことをはっきりさせて、その上で失敗を恐れずに挑戦する姿勢を持ち、積極的に行動することが大切です。</p>

# 大学内の様子

